



令和8年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年5月15日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）坂本 大地
 問合せ先責任者（役職名）執行役員財務経理部長（氏名）荒川 健人（TEL）03-5363-2132
 半期報告書提出予定日 令和8年5月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和7年10月1日～令和8年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年9月期中間期	4,018	△4.3	330	5.4	371	10.5	242	1.1
7年9月期中間期	4,197	△2.7	313	△14.0	336	△10.4	239	△25.0

（注）包括利益 8年9月期中間期 264百万円（5.1%） 7年9月期中間期 251百万円（△22.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
8年9月期中間期	27.11	—
7年9月期中間期	26.84	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年9月期中間期	5,942	1,946	31.8
7年9月期	5,605	1,670	28.9

（参考）自己資本 8年9月期中間期 1,887百万円 7年9月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
8年9月期	—	0.00	—	—	—
8年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年9月期の連結業績予想（令和7年10月1日～令和8年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,348	1.3	231	18.3	206	11.2	115	52.0	12.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年9月期中間期	9,030,100株	7年9月期	9,030,100株
② 期末自己株式数	8年9月期中間期	102,667株	7年9月期	106,472株
③ 期中平均株式数（中間期）	8年9月期中間期	8,927,091株	7年9月期中間期	8,915,227株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、卸売事業、加工事業、養殖事業を垂直に展開する6次産業化を推進しております。その目指すところは、SCM(サプライチェーンマネジメント)力のある垂直統合型の総合水産企業の展開です。目的は、グループ飲食店舗のお客様、外販先(飲食業者、小売業者、卸売業者等)とダイレクトに情報共有することで、すべての事業においてお客様視点からの生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造にあります。当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMによるトレーサが確認できる安心・安全な食材の調達と職人の技を駆使した満足度の高い料理・サービスの提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場にも引き続き目を向けており、2026年5月には米国2店舗目も開業いたしました。

当中間連結会計期間において、連結売上高は前年から微減であるものの店舗オペレーション改善や養殖事業を通じた原価抑制などの影響等により、営業利益等は増加いたしました。

結果、売上高40億18百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益3億30百万円(前年同期比5.4%増)、経常利益3億71百万円(前年同期比10.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億42百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

当中間連結会計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、子会社である(株)長崎ファームとの連携により安定供給される自社ブランド食材により、仕入原価安定化に寄与しております。

「寿し常」においても、事業譲受以来行ってきた不採算店舗整理によって収益性を高めてきました。また、「とらふぐ亭」と同様に(株)長崎ファームとの連携による食材の安定供給による仕入原価安定化を図っております。

海外店舗である「WOKUNI」においては、賃金と諸物価高騰に加えて現地における税制改正内容についての不透明さが生じる中でも連結利益に寄与しております。

飲食事業における共通の取り組みとして、養殖事業を用いた原価管理・安定化のみならず店舗オペレーションや店舗毎の最適人員体制整備についての改善を行っており、特に国内既存店舗において人件費率及び原価率改善に寄与しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における飲食事業は、売上高35億66百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益2億99百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

(外販事業)

養殖事業においては、平戸養殖場における「平戸本まぐろ極海一番」の養殖において、より大型の個体の生育を目指し、生産・出荷数のコントロール並びに研究開発を行っており、中量級以上の出荷が増加傾向にあります。

以上の結果、当中間連結会計期間における外販事業は、売上高4億23百万円(前年同期比16.3%減)、セグメント利益28百万円(前年同期はセグメント損失12百万円)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、東京都を中心とした居住用・事業用不動産についての賃貸が拡大しております。特に2025年9月期下期に完成、賃貸を開始した物件については入居率が上昇しており当期においては収益が帰属する期間が拡大しております。

当中間連結会計期間における不動産賃貸事業は、売上高67百万円(前年同期比349.1%増)、セグメント利益41百万円(前年同期比460.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて6億43百万円減少し、22億42百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加3億93百万円及び前渡金の減少9億82百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて9億55百万円増加し、36億30百万円となりました。主な要因は、建物の増加9億69百万円となります。

(繰延資産)

繰延資産は前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、69百万円となりました。主な要因は、開業費の計上による増加25百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて1億26百万円増加し、14億59百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加30百万円、未払法人税等の増加46百万円及び流動負債その他の増加62百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、25億37百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少55百万円及び資産除去債務の減少20百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて2億75百万円増加し、19億46百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益による増加2億42百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性のブラッシュアップに努めブランド力を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得し、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達において、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当中間連結会計期間 (令和8年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,591	1,206,171
売掛金	259,288	287,954
仕掛品	611,173	519,518
原材料	109,049	128,355
前渡金	983,665	1,430
その他	110,403	99,002
流動資産合計	2,886,171	2,242,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,960,407	2,894,513
減価償却累計額	△1,382,843	△1,386,826
建物及び構築物(純額)	577,564	1,507,686
機械装置及び運搬具	123,901	116,406
減価償却累計額	△77,906	△74,719
機械装置及び運搬具(純額)	45,994	41,687
工具、器具及び備品	556,779	534,396
減価償却累計額	△452,642	△445,016
工具、器具及び備品(純額)	104,136	89,380
土地	889,517	904,387
建設仮勘定	412,459	504,811
有形固定資産合計	2,029,672	3,047,954
無形固定資産		
ソフトウェア	27,392	22,039
無形固定資産合計	27,392	22,039
投資その他の資産		
敷金及び保証金	459,354	443,567
破産更生債権等	28,490	29,245
繰延税金資産	35,952	41,261
その他	188,534	145,018
貸倒引当金	△94,232	△98,133
投資その他の資産合計	618,099	560,959
固定資産合計	2,675,164	3,630,952
繰延資産		
開業費	44,220	69,590
繰延資産合計	44,220	69,590
資産合計	5,605,557	5,942,976

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当中間連結会計期間 (令和8年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,917	177,728
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	471,776	462,368
未払金	229,007	236,700
未払法人税等	91,385	137,643
資産除去債務	51,824	41,060
その他	91,446	153,738
流動負債合計	1,332,356	1,459,239
固定負債		
長期借入金	2,368,618	2,312,712
資産除去債務	184,068	163,560
繰延税金負債	17,568	28,484
その他	32,199	32,896
固定負債合計	2,602,454	2,537,653
負債合計	3,934,811	3,996,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,450	530,450
資本剰余金	440,134	440,303
利益剰余金	679,007	921,038
自己株式	△46,085	△43,953
株主資本合計	1,603,507	1,847,838
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,372	39,714
その他の包括利益累計額合計	17,372	39,714
新株予約権	49,865	58,529
純資産合計	1,670,745	1,946,083
負債純資産合計	5,605,557	5,942,976

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
売上高	4,197,443	4,018,061
売上原価	1,582,883	1,440,859
売上総利益	2,614,559	2,577,202
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	578,060	510,849
雑給	350,745	357,048
販売促進費	59,608	54,340
地代家賃	392,090	354,579
減価償却費	42,636	39,056
その他	877,650	930,755
販売費及び一般管理費合計	2,300,791	2,246,630
営業利益	313,768	330,571
営業外収益		
受取利息	735	710
協賛金収入	2,396	1,650
為替差益	-	23,993
助成金収入	28,185	27,391
その他	5,849	13,267
営業外収益合計	37,166	67,012
営業外費用		
支払利息	10,740	25,303
為替差損	87	-
その他	4,082	856
営業外費用合計	14,910	26,160
経常利益	336,023	371,422

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	99	254
新株予約権戻入益	9,315	-
特別利益合計	9,415	254
特別損失		
固定資産除却損	1,037	616
減損損失	26,914	-
特別損失合計	27,952	616
税金等調整前中間純利益	317,487	371,060
法人税、住民税及び事業税	99,788	123,423
法人税等調整額	△21,622	5,606
法人税等合計	78,166	129,029
中間純利益	239,320	242,030
親会社株主に帰属する中間純利益	239,320	242,030

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
中間純利益	239,320	242,030
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,275	22,341
その他の包括利益合計	12,275	22,341
中間包括利益	251,596	264,372
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	251,596	264,372
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	317,487	371,060
減価償却費	61,622	83,371
減損損失	26,914	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,662	3,900
受取利息及び受取配当金	△735	△710
支払利息	10,740	25,303
為替差損益(△は益)	87	△23,993
助成金収入	△28,185	△27,391
新株予約権戻入益	△9,315	-
資産除去債務履行差額(△は益)	△1,227	-
固定資産売却益	△99	△254
固定資産除却損	1,037	616
売上債権の増減額(△は増加)	△45,037	△28,666
棚卸資産の増減額(△は増加)	△98,275	72,349
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,654	30,811
未収入金の増減額(△は増加)	33,849	△811
未払金の増減額(△は減少)	△15,932	7,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	47,794	27,340
その他	10,177	31,711
小計	302,910	572,330
利息及び配当金の受取額	735	710
利息の支払額	△10,740	△25,303
助成金の受取額	28,185	27,391
法人税等の支払額	△28,677	△81,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,412	493,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	14,989	111,897
有形固定資産の取得による支出	△378,728	△113,345
有形固定資産の売却による収入	100	254
有形固定資産の除却による支出	△540	△224
無形固定資産の取得による支出	△1,953	-
資産除去債務の履行による支出	△8,850	-
貸付けによる支出	-	△1,210
貸付金の回収による収入	10,164	198
敷金の回収による収入	16,844	15,830
預り保証金の受入による収入	12,510	115
長期前払費用の取得による支出	△2,942	△819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,407	12,695

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	374,164	180,000
長期借入金の返済による支出	△216,922	△256,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,241	△76,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,956	28,714
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,202	458,580
現金及び現金同等物の期首残高	920,497	747,591
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,041,700	1,206,171

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	調整額 (注)1	中間 連結損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,676,023	506,331	15,089	4,197,443	—	—	4,197,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,676,023	506,331	15,089	4,197,443	—	—	4,197,443
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	320,371	△12,773	7,333	314,931	—	△1,163	313,768

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,163千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	調整額 (注)1	中間 連結損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,566,000	423,939	28,122	4,018,061	—	—	4,018,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	39,637	39,637	—	—	39,637
計	3,566,000	423,939	67,759	4,057,698	—	—	4,057,698
セグメント利益	299,180	28,813	41,125	369,119	—	△38,548	330,571

(注) 1. セグメント利益の調整額△38,548千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。